応募数及び入賞入選数

（単位：点）

部門／作品数	絵画	彫刻	書	工芸	写真	計
応　募　数	171	5	22	26	61	285
入賞入選数	123	5	15	20	43	206

運営委員長　　**内田いず美**（浜松市美術館協議会会長）

審　査　員

絵　　画　**占部　史人**（静岡大学教育学部 美術教育専修講師）
彫刻・工芸　**御宿　　至**（彫刻家）
書　**広瀬　舟雲**（武蔵野大学教育学部教授）
写　　真　**若木　信吾**（写真家）

ごあいさつ

運営委員長　内　田　いず美

未だ、新型コロナウィルス感染症の収束は見られず、多くの都道府県、そして静岡県に蔓延防止等重点措置が発令されています。その中で、本年度第６９回市展を開催できますのも、市展に応募されました１５歳から９０歳までの２８５名の皆様方、そして公私ともにご多用にもかかわらず、感染に留意されながら浜松市美術館へご来館いただきました皆様方のおかげです。皆様方に敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

コロナ禍の生活が、２年近くなります。私たちの生活は一変し、新しい生活様式が生まれました。その中で、制作者の皆様はご自身の作品と真剣に向き合い、今の思いを作品に込めるエネルギーは並大抵なことではなかったことと存じます。

今回の応募作品につきましては、昨年より３０点程減ってしまいましたが、どの部門の作品からも、作品に挑戦する熱い思いが溢れ、見る者が元気をいただける力作ばかりで、スタッフ一同喜びに堪えません。

入賞・入選は全体で２７点・２０６点あり、４点の大賞の中から市長大賞を選んでいただきました。

その結果、今年度は工芸部門の作品《地球修復ロボ　G-3》（齋藤幸宏さん作）が市長大賞に選ばれました。作品を前にすると、思わず笑顔になり、心が癒されます。「楽しんで制作することは、モノづくりの原点である」と審査員から高評価を得ました。地球修復は、現状のコロナの問題や広くは SDGs への願い、様々な地球修復を感じ取っていただけたらと思います。

会期中は、蔓延防止等重点措置発令の期間と重なり、美術館への来館に制約を受けてしまいます。しかし、このような時期だからこそ、芸術に触れ、作品を通して対話をし、一人一人の文化芸術活動に対する意識を高め、感性を磨くことが望まれます。その向上に今後もこの市展が寄与しさらに発展することを願いごあいさつとさせていただきます。

審　査　評

絵画

占　部　史　人

今回初めて審査に関わらせて頂き、浜松の皆様の力作を拝見することができました。私は普段、現代美術の分野で作品を発表しており、現代美術の表現者という視点から作品を選考させて頂きました。美術史を振り返ると、印象派以降、オーソドックスなスタイルや常識を疑うことで新しい表現が生み出されてきました。写真のように描かれた作品や安定し過ぎた構図の作品よりも、作者自身のオリジナリティや探求心が表現されている作品を中心に選ばせて頂きました。

大賞に選ばせて頂いた内山さんの作品は、とても自由な構図と色彩で描かれていて、不思議で楽しい絵画空間が広がっています。一見少女が描いた絵のように見えますが、長い人生で培われたご経験の蓄積が奔放なタッチに乗って表現されていて、とても美しい絵画作品です。

絵画は一生をかけて取り組むことができる貴重な表現方法であるということを改めて教えて頂きました。ありがとうございました。

彫刻

御　宿　　至

今年度の応募数を鑑みて、他のジャンルに比べ、日常生活のひとコマで彫刻制作に時間を割くことの難しさを改めて感じました。彫刻を一言で表すと、「モノとモノとの再構成により空間をも創る」芸術ジャンルの一つとも言えます。日常生活で出るゴミの中にも、実に興味深い素材、形、色彩等、に出会う事があります。そのようなモノとモノを、身の周りにある接着剤、釘、ひも、ガムテープ等、で再構成してみるのも、彫刻作品を制作するための素晴らしい訓練となり、創造力の活性化に役立ちます。残念ながら今回は、奨励賞、大賞の選出には至りませんでした。影山さんの《流転》ですが、大きさもあり制作にかける情熱は評価するのですが、表面的な形態の制作に終始し、彫刻的要素に弱さがありました。馬渕さんの《ふたつの有体》は、素材使用の工夫等、とても好感を持つのですが、今回の作品は表層的なフォルムに囚われているのが、気になりました。他の３点は、石膏による頭部像でした。これらの作品は、甲乙つけがたいものでしたが、野澤さんの《ふっと》は、首の裏面から顔部への構成が金子さん、松尾さんのものより勝っていると感じました。とにかく佳い作品（頭部像も含め）の創造には、観察と習作を重ね、同時に優れた本物の作品に触れる機会を増やすことです。次回を楽しみにしています。

書

広　瀬　舟　雲

今年度の書部門は、漢字・仮名・漢字仮名交じりの書・篆刻といった様々な分野の力作が集まり、高度な技法のものや、心を込めて丁寧に一生懸命書いたものなど作品の幅が広く、とても目を楽しませていただきました。近年の書道展では、テクニックを駆使し、細かいところよりも一見して全体感の見栄えが良いものが好まれる傾向がありますが、本審査では、市民の皆様のいろいろな傾向の作品を幅広く選ぶため、まず、すべて入賞審査のごとく、全作品を入念に一字一字チェックしていきました。すると、せっかく全体感と技術力が優れていると思って拝見しても脱字や誤字、そこまでいかなくても怪しい字形を含むものが、出品作品の中にいくつも存在することが判り大変惜しまれたことをまず記しておきます。特に行草の漢字作品の中に多く見られました。また強弱をつけデフォルメすることは大いに結構ですが、細部の正確さも大切にして運筆してほしいと思いました。墨の潤渇をつけて変化を出すのは大いに結構です。しかし滲みも線と同じ墨色となり、筆線が全然見えないものは一考を要します。墨色の工夫と明快な線を引く研究をすることとともに、華美に陥らず、心を込め、線質に深い味わいをもった作を期待します。土屋さんの作品は、非常に鍛錬された線質、文字の大小をつけつつ生かした余白、かすれと滲みを程よく調和させた筆線の心地よいリズム、この３者がともにほどよく調和し、眼前に迫る優秀作として大賞としました。野中さんの作品は、力まずしかし着実に引いた線質が魅力的でとても新鮮、とくに横画の運筆が優れ、心洗われる隷書作品として奨励賞に選定しました。皆様の今後のご精進に期待します。

工芸

御　宿　　至

今年度は、応募数２６点から、２０点の入選となりました。工芸作品は、技術的手法が多岐にわたり、特に入賞候補についてはいつも悩むのですが、今回は大賞については、わりと早く齋藤さんの《地球修復ロボ　G－3》に決まりました。地球環境の問題を、ユーモアたっぷりに、しかしアイロニーを隠し味に表現したこの作品が、より魅力的だったのは、この作者の、創造に対する喜びと情熱を大きく内包しているからかもしれません。奨励賞、野村さんの《守りたいもの》は、やはり、地球の時事問題をテーマに海亀（子亀）の保護を温かな目線で制作したもので、観る者にもホッとする安らぎを伝えます。あと一点の奨励賞は、中村さんの《木綿九寸帯地「めぐりあふ」》ですが、一本一本の糸の染から、掬い織りの技法で品のあるシックな帯地は、日本文化の奥深さを喚起させてくれます。他に気になる作品として、竹内さん《前に進むためのバイク》は、既製部分が目につき、作品自体を弱くしてしまいました。次回は、彫刻での出品を楽しみにしたいと思いました。石井さんの清楚なすがすがしさ、勝田さんの寓話的要素の楽しさ、小野田さんのユーモアと構成センス、野村（尚輝）さんの哲学的文様等等、とにかく入選作品は、甲乙つけがたく思いました。皆さんが、創造することの楽しさ、嬉しさをより深めて頂けましたら幸いです。

写真

若　木　信　吾

大賞に選ばれた石塚さんの《黄金色の光景》は、遠くに見えるアクトシティ浜松から誰もが浜松の風景だとわかるにも関わらず、この写真の持つ世界感に引き込まれます。雲から差し込む光や、水面が静かに波打つディテールがしっかり捉えられていて、その場に遭遇した撮影者の驚きと、その世界を捉えようとする冷静さが同居しています。

奨励賞の《ユリの咲く情景》や《干柿の下朝日をあびて》も、ふと目を挙げた瞬間に見えた光景に撮影者が引き込まれてしまった感じがとてもよく出ています。《大松明に祈りを込めて》は祭事での一番緊張感のある表情を見逃しませんでした。その瞬間を捉える目と身体感覚は撮影者の長年の積み重ねであることが伺えます。《口笛で奏でる酔った老人》は市展には珍しく、スタジオワークの写真のようですが、表情を映し出すライティングと削ぎ落とされたシンプルな背景が人物のミステリアスさ強めています。

写真は選ぶことを突き詰めていく作業です。写真とはこうあらねばならぬという、まことしやかな選択基準を一度忘れることであたらしい世界が見えてくることもあります。

令和３年度

浜　松　市
第69回
市　展

開催期間　令和4年2月11日（金）―3月1日（火）
〔2月14日（月）・21日（月）・28日（月）休館〕
開館時間　午前9時30分 ― 午後5時
会　　場　浜松市美術館

主催：浜松市

※作品番号と展示の順番は、必ずしも一致しません。

	No.	賞	作品名	作者氏名
絵画(油彩画)	1	奨励賞	製材所	田中正太郎
	2		バスク地方の村	磯部啓次
	3		生きるということ －鳥－	渥美麻美
	4	奨励賞	奥浜名湖眺望	平野彦一
	5		渥美半島・田園	山下広矛
	6		山の恵	丸山敏朗
	7	奨励賞	永遠の思い出	石津喜久子
	8		秋の気配 森林公園	中安宮子
	9		父子	飯田往宏
	10		輝くあした	以西雅章
	11		森の宝石	西村幸近
	12		寺野ひよんどり	村松和憲
	13		赤いラバーと白い球	大野和衞
	14		初収穫	山口彩苑
	15		いのちのうた	伊東斉
	16		街中の風景	稲勝佐保子
	17		夢の国へ	阿久津恵美子
	18		コロナ避け、公園で憩う	成島通允
	19		大樹	杉山全代
	20		雲間曙彩	水谷裕子
	21	大賞	旅の思い出	内山たづ子
	22		静かな朝のサンタルチア港	関塚博
	23		まるがた通路	青柳孝
	24		輝ける朝	袴田とし子
	25		晩秋の佐鳴湖	森田信子
	26		湖面に映るホテル	鈴木和保
	27		摩訶耶寺石仏群	山口猶也
	28		浜松城の石がき(野面積み)	加藤市之助
	29		やさいの国	杉山悦子
	30		家路	渥美一恵
	31		夜行列車の思い出～昭和51年宗谷本線和寒駅にて	川村正文
	32		穏やかな休日	品川育子
	33	奨励賞	stray sheep	赤堀瑳紀
	34		縄文杉	京極さとみ
	35		勇者サムソン	加藤廣史
	36		パラソル	安間広子
	37		夢みる聖なる修道院	小松悟
	38		シンフォニー	大津美奈子
	39		ラインの滝(スイス)	中島昭
	40		風抜の浜	仲山智子
	41		プールサイド	室井政雄
	42		休日の佐鳴湖	川村美春
	43		童景	細田尚子
	44		水辺の宝石	山本登紀夫
	45		サムライの叡智	金井美代子
	46		神越の秋	松井正幸
	47		ホームにて	鶴見敏明
	48		結(ゆひ)	中川明彦
	49		存在	内山みさほ
	50	奨励賞	春風	小楠和子
	51		ゆくえ	杉本厚子
	52		春の犀川大橋	米村健一
	53		追憶	金田宏子
	54		神代桜	森山博子
	55	奨励賞	色彩とりどり	鈴木智美
絵画(水彩画)	56		神獣	鈴木博仁
	57		舞妓から芸妓への旅立ち	鈴木眞司
	58		修験者 峰中修行 その2	山下清生
	59	奨励賞	惑星	大村理得
	60		午後の日ざし	机貞代
	61		由比の路地裏	机昭治
	62	奨励賞	龍舌蘭	坂本克子
	63		至福の時	桒原優杏
	64		クオリアの遠回しな説明	西川祐敬
	65		佐鳴湖東岸	岩田規子
	66		追想	石岡和子
	67		静物	江間麻美
	68		再生	野嶋照子
	69		と・も・だ・ち	伊藤静子
	70		蘇生までのひとやすみ	牧野みち代
	71		落葉の舞	山路勲
	72		双つの叫び	鈴木英伸
	73		竹炭窯	鈴木雅子
	74		夜	澤木惟寿
	75		風のたより	菅原渉
	76		願望(可睡斎で)	山口健次郎
	77		タマネギの出荷準備中	河合敬子
	78		睡蓮の池	今井陽映
	79	奨励賞	上高地田代池	鴨井清
	80		Sail Sphere	武藤克弥
	81		静かな窓辺 フランスのナーちゃん	平野晴義
	82		初冬の小國神社	足立憲雄
	83		過ぎ行くままに	山田惠子
	84		温もりある家々	田中房子
	85		「手だけモデルになって。」	山崎公明
	86		ふるさとの祭り	矢部みどり
	87		古東土の茶畑	社澤悟
	88		万感の思い	松永千奈
	89		風の記憶	安間保正
	90		小春日和の宴	節田かをる
	91		ようこそサネカズラへ	井田素子
	92		白毫光「願コロナ退散」	堀内計利
	93		刻の流れ	小笠原好子
	94		au chocolat	渡邉萌
	95		希望	太田美稼
	96		収穫の頃	藤田盛雄
	97		裏庭の陽だまり	田口よし子
	98		待っていた春	根木節子
絵画(日本画)	99		春ひらく	山本梢
	100		秋気の彩り	藤井克治
	101		ゴーヤ	内藤ひで子
	102	奨励賞	盛夏のひととき	白岩和浩
	103		夏への予感	小川直子
	104		蹈常襲来	川合秀幸
	105		閑日	野中浄恵
	106		秋草図	中村幸代
絵画(その他)	107	奨励賞	おばあちゃんのおてつだい	長谷部征彦
	108	奨励賞	Scenery of one day	林訓史
	109		奏花	酒見恵子
	110		時には外遊びで私を挑発する。	竹村俊樹
	111	奨励賞	凍り付いた原始性を溶かしにいく	木下雄一
	112		蹲る花	山神利秋
	113		バングラデシュの少女	倉田よし子
	114	奨励賞	蝶VSシマウマ	野村尚輝
	115		浸蝕－L(水辺の景－1)	鈴木宏明
	116	奨励賞	シロ	諸星光虹
	117		niku	五十嵐玲花
	118		夕暮れ風景	佐藤さつき
	119	奨励賞	奏でる	福田博年
	120		cherry blossoms	江間正哲
	121		橋(チェコ・プラハ)	室井仁志
	122		思い出の街	袴田貴久子
	123		雫	細田泰生
彫刻	1		流転	影山裕斗
	2		ふたつの有体	馬渕誠
	3		ふっと	野澤咲希
	4		自刻像	金子竜己
	5		自刻像	松尾杏夕莉
書	1		藤原基俊の歌	三原弘明
	2		陳璉詩	河島彩澄
	3		袁枚詩「釣台」	村上香瑠
	4	大賞	杜甫詩	土屋美幸
	5	奨励賞	盧綸詩	野中一華
	6		岑参詩	石川湖の香
	7		萬壑秋聲起	山村默瑩
	8		樵徑詩	松野本紫扇
	9		老子之語三顆	村松辰平
	10		繋がる想い	平川彩日
	11		啄木のうた	鈴木賢三
	12		背くらべ	鈴木美砂
	13		黄庭堅詩二首	髙橋恵美子
	14		風虎雲龍	鈴木雅子
	15		東の野にかぎろいの	大石悦子
工芸	1		前に進むためのバイク	竹内研人
	2		戸塚刺繍(蒼い夏の花)	石井孝子
	3		四季の神	森貴子
	4		狼を被る	勝田つかさ
	5		夢灯籠	村石修司
	6		クジラ釣り?「いや、逃げろ!」	小野田宗弘
	7		絆・竹光	金子裕亮
	8		オルテガボード	野村尚輝
	9		静岡県立森林公園	田中千栄子
	10		素敵な	中井優響
	11		いちご畑	猪股楓香
	12		喜	中村碧琉
	13	奨励賞	木綿九寸帯地「めぐりあふ」	中村美喜子
	14		大正ロマン	鈴木佐知子
	15		早春のおもてなし	鈴木みさ子
	16	奨励賞	守りたいもの	野村桂子
	17		“生花”“盛花”“老花”	森脇弘子
	18	浜松市長大賞	地球修復ロボ G-3	齋藤幸宏
	19		Wisteria(藤のフロアランプ)	坪井絹代
	20		眼差し	大槻秀行
写真	1		蜘蛛ノ帯	松本弘
	2		アケビの花	高木章雄
	3		夕映えに、紅く楓	堀尾俊博
	4		浜名湖の冬	袴田啓志
	5	奨励賞	ユリの咲く情景	太田文十
	6		駆ける子	小松原清
	7		ここなら安心・日向ぼっこ	柳澤伸俊
	8		ママちょうだい	和田重三郎
	9		よーいどん	加茂正喜
	10		波頭の彼方	中野正弘
	11		おぼろげに暖を知る	竹内研人
	12		翡翠	鈴木孝
	13		炎天下千年の伝承!	木下博達
	14		親子のふれあい	西川章司
	15		待って!ぼくも行く。	有馬智加枝
	16		乱(蘭)舞	岡本孝仁
	17		バレリーナ	小川雅也
	18	奨励賞	口笛で奏でる酔った老人	鈴木良
	19		未来へつなぐ	飯田拓司
	20		真夏の農作業	平野保彦
	21		ひよどり空に	中村寿男
	22		祭りの日	齋藤公久
	23		小宇宙	松本朝子
	24		厳冬の華	平野晴久
	25	大賞	黄金色の光景	石塚孝
	26		波紋より速き	稲垣成憲
	27		Born in Hamamatsu.In Japan.Planet Earth.The Universe.	PLATTARD LAURA
	28		初冬の仙石原	松ケ下孝平
	29		スマホ時代	木下邦允
	30		神輿がゆく	本多純一
	31	奨励賞	干柿の下朝日をあびて	北山末子
	32		ハイテンション	石野康夫
	33	奨励賞	大松明に祈りを込めて	浅井秀夫
	34		力泳	伊藤洋子
	35		荷車	木野玉枝
	36		休日の登山	成尾基幸
	37		冬の面ノ木	吉田正一
	38		みほとけのキセキ	御手洗勝次
	39		ママ―!どこ?	御手洗洋二
	40		幽玄	武田良夫
	41		真夜中の匠たち	松島優喜
	42		海辺のパレット	山崎正子
	43		夏の日の思い出	柴田泰孝